

人工知能を活用した
数学・物理学・化学の
筆記記述試験の自動採点システム
要件仕様書

2026.4.6

株式会社DynaxT

システム概要

実験及び確認手順

- 1 数学記述式データは高松呼応等予備校の問題と解答用紙を使用して、実験テストする。
- 2 PDSの手書き文字→デジタル文字に変換するソフトで、答案内容をデジタル化する。→解答蘭外の記入は採点対象から除外する。（リスト化）
- 3 問題番号、採点基準 を 生成AIに与える
- 4 受験番号、氏名 、問題番号、解答記述 のデジタルデータを生成AI（Clode）に読みこまして自移動採点させる。
 - ① 採点基準を与えて、複数の答案を連続自動採点できるか確認
大問に複数の小問がある場合の対応はどうか。
 - ② 満点でない時の部分点について、基準がないときの対応はどうか。
 - ③ 正解からずれているが、言い間違いやいい着眼点がある時どうか。
などなど、課題がありそう。

システム概要 2

実験及び確認手順

- 5 採点結果の書き込み CSV→EXCELまたはGoogleシートへ
受験番号、氏名、問題番号、採点結果、コメント（+ - 評価内容）
- 6 複数の生成AIで自動採点させて、採点結果の差が大きい場合は、人間の目でチェックし再採点し易くする。